

近畿ブロック会議（平成29年7月21日・兵庫県：神戸メリケンパークオリエンタルホテル）

参加者は約147名。喜多徹人兵庫県副会長が開会の辞を、開催県の兵庫県を代表して、丸山博久兵庫県会長があいさつを述べた。次いで、近畿ブロックを代表して福田益和近畿ブロック協議会会長、小林光俊全専各連会長があいさつを述べた。

次いで、来賓を代表して井戸敏三兵庫県知事（代読）が来賓祝辞を述べた。

引き続き、文部科学省専修学校教育振興室の星川正樹室長補佐が行政報告を行った。専門職大学・専門職短期大学の制度化、専修学校教育の振興のあり方について（報告）、今年度の文科省専修学校関係予算等について説明した。全専各連事務局からは、今年度の運動方針を述べるとともに、専門職大学設置に向けての今後のスケジュールなどを説明した。最後にTCE財団が行う各種事業への積極的参画についての要請を行った。

休憩を挟み、「専門職大学など大きな社会変化に対応する専修学校のあり方について」をテーマに議案協議となった。最初に、清水信一全専各連常任理事、（学）武蔵野東学園理事長が基調講演を行った。高等学校との格差是正を求め実現させている高等専修学校協会の活動について紹介し、教育の質の向上、自己評価と情報公開、説明責任等学校がやるべきことを遂行し、自らの魅力を発信していくことの重要性と、これからの高等専修学校の振興のあり方を語った。

次に、パネルディスカッションとなり、コーディネータは大岡豊兵庫県副会長が、パネラーは、清水尚道大阪府副理事長、竹本雅信京都府理事、長良秀昭滋賀県副会長、大原敏敬奈良県会長、井之上芳雄和歌山県理事、5名の各府県の代表がつとめた。専門職大学について、専修学校の地域への貢献について、高等教育機関としての責務について、地元行政との連携等について、現状報告や意見交換がなされた。

赤池誠章参議院議員が国政報告を行い、専修学校各種学校の振興に力を尽くす決意を述べた。

最後に、次期開催県として大阪府の福田益和理事長があいさつ、閉会の辞を兵庫県水野譲二副会長が述べた。その後懇親会となり全日程を終了した。